

2022年度以降入学生用 常磐大学大学院 看護学研究科 修士課程 履修系統図(図形式)【ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーと各授業科目の対応関係】

建学の精神	実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる。
教育理念	自立・創造・真摯
研究科の教育研究上の目的	(1)専攻分野について研究活動を推進し、その成果をもって看護系高度専門職業人の養成を担う将来の研究者および教育者を養成する。 (2)看護職者リーダーとして専門的な職務に従事するために必要な知識やスキルを身につけて、保健医療分野における多様なニーズに対応し、複雑化する疾病の予防と地域住民の健康増進に寄与できる高度専門職業人を養成する。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (教育課程編成・実施の方針、カリキュラム・ポリシー)		授業科目				卒業の認定に関する方針 (卒業認定・学位授与の方針、ディプロマ・ポリシー)	
		1年次		2年次			
		春semester	秋semester	春semester	秋semester		
(2) 実施方針	(1)「看護理論と関連科学」及び領域別特論4科目などの講義をとおして、看護ケアを継続的に改善するために、看護学及びその周辺領域の科学、人文科学の知識を統合し、看護に活かす方法論を主とした学際的教育を行う。	大学院教育導入論 看護理論と関連科学 看護管理教育特論 精神・地域在宅看護学特論 精神専門看護学特論Ⅰ 母子看護学特論 小児専門看護学特論Ⅰ 成人高齢者看護学特論	生涯人間発達科学 精神専門看護学特論Ⅳ 小児専門看護学特論Ⅲ 小児専門看護学演習Ⅱ 精神専門看護学実習Ⅰ 小児専門看護学実習Ⅰ			1.看護ケアを継続的に改善するために、看護学及びその周辺領域の科学、人文科学の知識・知見を統合できる。	
	(2)質改善と安全上の課題に関する評価ツール及びパフォーマンス測定基準に関する基礎知識を学んだうえで、事例を用いた演習及び実践現場での実習をとおして質保証の原則を組織内で適用できる教育を行う。	エビデンスに基づく実践のための研究 精神専門看護学特論Ⅱ	医療の質改善と情報科学 看護管理教育学演習 精神看護学演習 地域在宅看護学演習 母性看護学演習 小児看護学演習 小児専門看護学特論Ⅱ 成人高齢者看護学演習 精神専門看護学実習Ⅱ	小児専門看護学特論Ⅴ 高度実践実習(リーダーシップ) 小児専門看護学実習Ⅲ			2.質改善と安全上の課題を特定し、方法、ツール、パフォーマンス測定、基準の明確化など質保証の原則を組織内で適用することを例証できる。
	(3)講義・演習・実習をとおして、最新の科学技術や情報科学を積極的に活用し、看護ケアや看護介入をより効率的にするための教育を行う。	高等教育のための情報リテラシー フィジカルアセスメント 病態生理学 精神専門看護学特論Ⅱ 精神専門看護学特論Ⅲ 精神専門看護学演習Ⅰ 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究	医療の質改善と情報科学 臨床薬理学 精神看護学演習 精神専門看護学特論Ⅴ 精神専門看護学特論Ⅵ 小児専門看護学特論Ⅲ 小児専門看護学演習Ⅱ 成人高齢者看護学演習 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究	高等教育のための情報リテラシー 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究 高度実践実習(教育) 小児専門看護学実習Ⅱ 精神専門看護学実習Ⅳ 精神専門看護学実習Ⅴ	成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究		3.提供する看護ケアや看護介入をより効率的にするために最新の科学技術や情報科学を積極的に活用できる。
	(4)領域を超えた学生同士のディスカッションを取り入れた講義をとおして、エビデンスに基づいた実践に関する基礎知識と方法論を学ぶとともに政策策定プロセスを用いた政策や方針の改善・提案ができる教育を行う。	看護英語論文クリティック エビデンスに基づく実践のための研究 看護管理教育学特別研究 看護管理教育学実践課題研究 精神専門看護学特論Ⅲ 精神専門看護学演習Ⅰ 精神専門看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究 母子看護学特論 小児専門看護学演習Ⅰ 精神・地域在宅看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究	高等教育のための科学的リテラシー 看護政策論 文献検討 看護研究方法論 看護管理教育学演習 看護管理教育学特別研究 看護管理教育学実践課題研究 地域在宅看護学演習 精神専門看護学特論Ⅳ 精神専門看護学特論Ⅴ 母子看護学特別研究 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究 小児看護学演習 小児専門看護学特論Ⅱ 小児専門看護学特論Ⅳ 母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究 精神専門看護学実習Ⅱ 小児専門看護学実習Ⅰ	看護管理教育学特別研究 看護管理教育学実践課題研究 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究 精神専門看護プロジェクト 小児専門看護学特論Ⅴ 母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 小児専門看護プロジェクト 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究 精神専門看護学実習Ⅲ 小児専門看護学実習Ⅲ	高等教育のための科学的リテラシー 看護管理教育学特別研究 看護管理教育学実践課題研究 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究 精神専門看護プロジェクト 母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 小児専門看護プロジェクト 成人高齢者看護学特別研究 成人高齢者看護学実践課題研究	4.既存の研究知見を適用・応用し、上級レベルの知識を実践に転換でき、実践上の課題を解決し、その結果を普及することの重要性を認識できる。	
	(5)リーダーとしての役割、協働の重要性に関する基礎知識や方法論を講義で学び、実習をとおして現場のさまざまな課題解決のためにリーダーシップ及び教育の原則を実践現場に適用できる教育を行う。	実践現場での教育と指導 実践看護管理論 看護管理教育学特論 精神専門看護学特論Ⅰ 精神専門看護学演習Ⅱ	看護倫理とコンサルテーション論 精神専門看護学実習Ⅰ 小児専門看護学実習Ⅰ	精神専門看護プロジェクト 小児専門看護学演習Ⅲ 小児専門看護プロジェクト 高度実践実習(リーダーシップ) 高度実践実習(教育) 精神専門看護学実習Ⅲ 精神専門看護学実習Ⅴ 小児専門看護学実習Ⅱ	精神専門看護プロジェクト 小児専門看護プロジェクト	6.質の高い、安全な看護を提供するために、組織とシステムのリーダーシップ及び教育の原則を実践現場に適用・応用できる。	
	(6)講義・演習・実習をとおして、臨床予防やヘルスプロモーションを目指す看護の提供において、文化、価値観、自律性を尊重しながら人と家族/市民中心の方略を提案し改善できる教育を行う。	看護理論と関連科学 精神・地域在宅看護学特論 精神専門看護学演習Ⅱ 小児専門看護学特論Ⅰ 小児専門看護学演習Ⅰ 小児専門看護学演習Ⅰ 母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 母子看護学実践課題研究 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究	生涯人間発達科学 地域在宅看護学演習 精神専門看護学特論Ⅵ 母性看護学演習 母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究	母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 高度実践実習(教育) 精神専門看護学実習Ⅳ 小児専門看護学実習Ⅲ 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究	母子看護学特別研究 母子看護学実践課題研究 精神・地域在宅看護学特別研究 精神・地域在宅看護学実践課題研究	8.臨床予防とヘルスプロモーションを目指す看護の提供において、文化的側面に配慮しながら人と家族/市民中心の方略を提案できる。	

修士の学位授与

